

新たな泰阜村の協力隊のご紹介

令和8年5月20日
泰阜村役場 村づくり振興室

泰阜村では、村づくりの推進のため、外部人材の活用を積極的に推進しています。協力隊としてこの5月から新たに加わった隊員を紹介します。



自己紹介

勤務地：株式会社農林業公社

出身地：愛知県日進市

現住所：温田地区

原田 守人

Harada Morihito
1966. 11.02 (59歳)

職歴：製薬会社（大鵬薬品：薬剤師）青森→仙台→東京→沖縄→山形→福島→つくば→新潟→京都と36年で9回転勤の転勤族、平均4年に一度の転勤

趣味：登山、バイクツーリングなど

家族：家族は千葉在住。妻(福祉関連職)、娘2人(社会人)

5月1日より泰阜村農林業公社で地域おこし協力隊としてお世話になっております。農業経験は未経験ですが農業に興味があり楽しみにしております。皆様の御指導を頂きながら協力隊として皆様と楽しくお役に立てるように頑張っていこうと思っております。何卒、これからよろしく御願致します。

改めてそれぞれの制度についてもご紹介します。

●地域おこし協力隊とは……

平成21年に始まった総務省の制度で、都市部の人材が農村部に移り住み、地域づくりをします。泰阜村では全員が非正規の公務員という扱いです。隊員1名につき特別交付税交付金というお金が国から村に入り、隊員の給料や活動費となります。最長3年まで活動できます。全国で7200名(R5年度)が活動しており、中には1自治体で50名以上の隊員を抱えるところもあります。泰阜村では、ジビエ加工施設で2名、株式会社の農林業公社で1名が活動中です。

●緑のふるさと協力隊とは……

NPO法人地球緑化センターの取組みで、地域おこし協力隊のモデルとなった事業です。地域おこし協力隊と違い村との雇用関係はない一方で、生活面全般を村とNPOが支援します。今年度は、NPO法人地球緑化センターからの派遣がありませんでした。